

市内における市民活動の情報を紹介します

今月の 元気ウォッチング

託児の会「しゃぼんだま」

DATA

設立 / 1997年 代表者 / 長屋浩子 会員数 / 44人
 活動内容 / まなび創造館で開催される事業の託児、会員間の交流とスキルアップをめざした研修会・交流会の開催
 問合せ先 / 長屋 (☎ 72-1885)



◀「こまきみらい塾」子育てママ集まれママの元気応援講座」では、参加者のお子さん14人を、まなび創造館和室で預かりました。

お母さんをバックアップ 頼れる託児ボランティア

保育士や母親など育児のベテランたちが、養成講座を経て発足しました。男女共同参画社会の実現をめざしてさまざまな講座やイベントが行われているまなび創造館で、参加者のお子さんを預かっています。「同館では、小牧市民大学こまきみらい塾をはじめ、映画やコンサートなどの催しもあります。育児中のお母さんは自分の時間を取りづらいますが、参加することで気分転換できますし仲間もできます。そうしたことが自分らしく生きることにつながるのではないのでしょうか」と代表の長屋浩子さん。同館より委託される託児は年間約200回にのぼり、社会参画したい、スキルアップしたいと考える女性の大きな支えとなっています。

上手に子離れ親離れ 幸せ親子をはぐくみたい

昨年からは「託児デビュー講座～はじめの一步～」を年2回開催。お母さんたちがおやつ作りに挑戦する間、お子さんを預かりました。「子どもが自分から離れても楽しく過ごせる姿を見ることで、お母さんたちは安心します。また普段とは違う環境に接することで、親子ともに視野や社会が広がります」と長屋さん。今月からは、「あなたも子育てサポーター」と題し、子どもの心理や幼児救急法など託児に必要な知識や技術を学ぶ講座を実施。また19日(日)には同館で開かれる「ワイワイっとまつり」の手作りおもちゃの体験コーナーに参加します。新会員も募集中ですので、お気軽にお問い合わせください。

フラッシュニュース

トピックス

市民活動助成金交付事業 「障がい児者と地域のつながり」事業実施

12月23日、発達支援の会えがおの呼びかけで、障がい児者と家族らが市公民館駐車場に用意された免震体験車（THK提供）に乗り、人工的に作られた地震や新潟中越地震・阪神淡路大震災を再現した地震を体感しました。これは地震の怖さを肌で感じることで防災意識を高め、さらには地域と協力した支援対策を考えていくきっかけづくりにしようと企画されたもので、28組の家族が参加しました。



▲家族ごとに免震車に乗り、震度6弱の揺れを体感しました。

「第4回小中学生小牧将棋大会」盛大に開催
 将棋小牧支部が12月25日、市公民館講堂で「第

4回小中学生小牧将棋大会」を開催しました。同大会は、平成21年に大人の大会が100回に達成したことを記念して創設されたものです。東海3県を中心に集まった幼稚園年中児から中学3年生までの147人は、段級別に分かれて対局。指導者や保護者の見守る中、白熱した戦いを繰り広げました。



▲パチン、パチンと子ども達の駒を指す音が会場に響き渡りました。

市民情報センター ギャラリー（小牧駅地下） 「明るい農縁」写真展

期間 2月27日(月)

「次世代育成モデル事業」 活動報告展

期間 2月29日(木)～3月29日(木)

このページは、こまき市民活動ネットワーク(☎74-4011)が取材、編集しています。